

B-30 縫い目割りに関する研究(第1報)

——測定方法の吟味と、縫い目割りに及ぼす作業条件の検討——

京都女大家政 ○北田總雄 太田光子

目的 縫い目の割りやすさを、正確にまた普遍的に評価するためには、従来からとられている視覚的な外観等級付けではなくて、定量的な方法で数値化することが好ましい。

本研究は、縫い目の割りやすさを評価する比較的簡単な測定方法を考え、それらの中から妥当で有効な方法を選定すること、さらに縫い目の割りやすさに及ぼす縫製条件と、縫い目割り条件の影響について検討するのが目的である。

方法 縫い目割りの測定方法は、平織2種(厚地・薄地)を試料として行なった。それは、(1)縫い目割り角度、(2)縫い目割り縫い代の最高高さ、(3)同縫い代の端高さの3種であって、それらを後記するいくつかの観点から検討、吟味した。

さらに、縫製条件(布種、縫い方向、針目数、縫い代幅)と、縫い目割り条件(アイロン温度、加湿水分量、アイロン時間)の影響を、直交表による実験結果を分散分析して調べた。

結果 縫い目割りの測定方法としては、縫い目割りの角度を測定するのが妥当な方法と考えられる。それは、測定値の持つ意味、測定技術の難易度、測定値のバラツキ、さらに分散分析表よりみに各因子の有意性の多少、および測定値の範囲等を総合的に検討した結果である。また、縫い目の割りやすさについては、縫製条件よりも、むしろ縫い目割り条件の影響が大きいことが認められた。すなわち、アイロン温度は高い方が、水分は加湿する方が、またアイロン時間は長い方が縫い目はよく割れることが分かった。さらに、縫製条件では布は薄地の方が、針目数は細かい方が、また縫い代幅は少ない方が割りやすい傾向を示した。